

## 第三学期終業式式辞

令和6年3月19日

### ※ 一年を振り返って・・・コロナ後の新しい生活の中で

昨年度も今年度もスタートの時には「始めたら始まり」という言葉を使いましたが、コロナ5類後はものすごい勢いでいろんなことが始まった年だったと感じます。「繋げ 吉田の未来と みんなのバトン」という体育祭や文化祭のテーマは、コロナ後の私たちの生活を支えるすばらしいスローガンとなりました。今は、3年生がこの学び舎を巣立ち、体育館も少し空間が増え、寂しい思いがあります。卒業式は、久しぶりにあなたたち一、二年生もこの体育館で先輩を送り出すことができ感無量でした。若林さんの答辞が胸に突き刺さり、私もうるっとしながらも卒業生の成長を心から喜んでいました。

### ※ 正解・・・採点基準はあなたのこれからの人生

来月はあなたたちが新入生を迎え入れることとなります。先週15日、吉田中学校の卒業式に出席させていただきました。来月には高校生になる方たちです。本校に入学してくれる生徒もたくさんいます。中学校では最後に合唱があるのですね。式の最後に、RADWINPSの「正解」を合唱をされていました。多くの卒業生が顔をくしゃくしゃにしながら歌っていました。

私は、はじめて耳にする歌でしたが、これから新しい門出を迎える人にとって胸に響く歌詞だったように思います。こういう思いで次のステージに向かっているのだと思いました。

ああ答えがある問いばかりを教わってきたよ だけど明日からは  
僕だけの正解をいざ探しに行くんだまた逢う日まで

そして、最後の問いとして、君のいない明日からの日々を僕は、私は どうしていくのかという問いが寄せられるのですが、

制限時間はあなたのこれからの人生 解答用紙はあなたのこれからの人生  
答え合わせの時に私はもういない だから採点基準はあなたのこれからの人生

### ※ 最終回が決まってないから人生は最高・・・「よーい はじめ」

ドラマ『不適切にもほどがある！』って知っていますか。昭和の主人公が昭和と令和をタイムトリップして行き来する話です。ドラマの中で最近よく話題に上がるセクハラやパワハラ、コンプライアンスなどをテーマに双方の時代の良さや問題点を令和、昭和双方の視点で描いています。その3月に入ってから放送だったと思うのですが「回収しなきゃダメですか？」で脚本家から原稿を回収する場面があり、脚本家は最終回が決まらないから出せないというのです。主人公はタイムトリップしているので自分と娘が1995年の阪神淡路大震災で亡くなることを知っているのです。主人公は自分の最終回を知っているのです。主人公が言います。「いつか終わる。ドラマも人生も・・・最終回が決まってないなんてさ、最高じゃん。俺に言わせりゃ最高だよ。」

卒業式の答辞では、三年生になって部活動を引退してから大学進学を考えて努力したことや、周囲への感謝の気持ちを伝えていました。自分が思いもしなかった方向に進んだのかもしれませんが。二年生も一年生も一年後、二年後どうなっているのかわかりません。いろいろなことを思い考え、努力を続けてください。皆さんがこれから吉田高校を支える番です。

さあ令和6年度へ向けて、採点基準はあなたの吉高での人生です。

「よーい はじめ」